

2022年2月9日

各位

会社名 株式会社EMシステムズ  
(登記上の商号 株式会社イーエムシステムズ)  
代表者名 代表取締役社長執行役員 國光 宏昌  
(コード番号 4820 東証 第一部)  
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 関 めぐみ  
(TEL 06-6397-1888)

## マテリアリティ（重要課題）の策定および長期目標設定のお知らせ

株式会社EMシステムズ（以下、「EMシステムズ」という）は、サステナビリティ経営推進のため、サステナビリティ委員会にてマテリアリティ（重要課題）（以下、「マテリアリティ」という）の策定および長期目標の設定を行い、取締役会での承認を経て下記の通り目標設定いたしましたことをお知らせいたします。

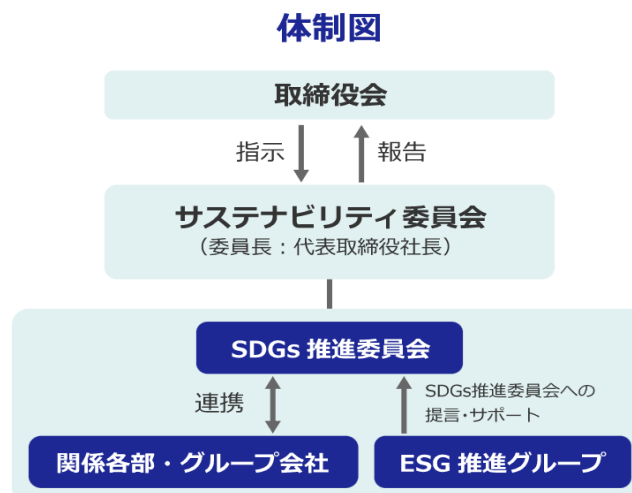
記

### 1. サステナビリティ推進体制について

EMシステムズは「人と地球の健康に貢献し続けます」という経営理念の下、システム提供を通じて社会に貢献するための事業を行ってまいりました。サステナビリティの推進については2021年1月13日付けプレスリリース「SDGs推進委員会設置についてのお知らせ」の通り、SDGs（持続可能な開発目標）（以下、「SDGs」という）の達成をEMシステムズグループの重要な経営課題と捉え、「SDGs推進委員会」を社内を設置し、SDGsのターゲットゴールに触れながら企業価値の向上と持続的な社会の実現に向けた各施策の実行を進めております。

さらなる事業への好影響に資する実施施策の検討のため、2022年1月からは、役員層で構成される「サステナビリティ委員会（委員長：代表取締役社長執行役員 國光宏昌）」を新たに設置いたしました。各組織の推進体制については下図の通りです。サステナビリティ委員会では今後、特定したマテリアリティに対する取り組みの進捗や検討を行い、EMシステムズグループ一丸となって持続可能な経営を実践してまいります。

【サステナビリティ推進体制図】



## 2. EMシステムズの4つのマテリアリティにおける取り組みと長期目標

マテリアリティ策定にあたっては、GRI スタンダードやSDGs ターゲットゴール等の国際基準を参考にしつつ、ステークホルダーの皆様の関心度と、EMシステムズの事業戦略上の重要度を掛け合わせて最重点課題を設定いたしました。

また、EMシステムズが2021年に新たにブランド・アイデンティティとして策定している「#TX | Thanks Transformation (医療・介護を「#ありがとう」に変えていく)」実現のため、マテリアリティ策定の文言にも“「ありがとう」「つなぐ」「といった理念経営実践の言葉が込められております。

長期目標の設定にあたっては、EMシステムズが2030年までに達成すべき長期目標として、マテリアリティごとの詳細設定を行いました。

マテリアリティ、取り組み概要および長期目標 KPI

マテリアリティ	取り組み概要	長期目標 KPI (2030年)
1. 「ありがとう」をつなぐインフラ基盤の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定したインフラとしてのシステム開発</li> <li>継続したシステム提供を可能とするための人財育成</li> <li>品質を担保する組織づくり</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>医療情報連携 (EHR サービス) の利用件数 6,000 施設</li> <li>専門性を高めるための職種別スキルアップ研修受講率 2021 年比 100% 向上</li> <li>品質管理機能の実効性の継続的な評価と向上</li> </ol>
2. 「ありがとう」をつなぐ信頼関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度なセキュリティ対応</li> <li>コーポレート・ガバナンスの強化</li> <li>ウェルビーイングの実現</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>男性育休の取得向上 育休取得率 30%</li> <li>女性管理職の比率向上 女性管理職比率 30%</li> <li>BCP 訓練の実施 (年に 1 回)</li> <li>不祥事・重大法令違反ゼロ件 (継続)</li> <li>セキュリティインシデントの重大事故ゼロ件 (継続)</li> <li>コンプライアンス教育の e-Learning 受講率 100%/年</li> <li>従業員エンゲージメント調査結果 2021 年比 1.0pt 以上の数値改善</li> <li>健康経営優良法人の認定 (継続認定)</li> </ol>
3. 「ありがとう」をつなぐ環境への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷の低減に配慮した製品開発</li> <li>クリーンエネルギーの活用</li> <li>環境負荷・気候変動に対応するリスク管理</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>当社の電気使用量と温室効果ガス排出量 2020 年比 50% 削減</li> <li>当社製品による DX 効果による温室効果ガス排出量 2021 年比 40% 削減</li> <li>電子契約実施件数 (年間) 2020 年比 100% 向上</li> </ol>
4. 「ありがとう」でつなぐ価値共創	<ul style="list-style-type: none"> <li>チーム医療の実現に寄与するシステム開発</li> <li>更なる人々の健康と幸せの実現に寄与するサービスの提供</li> <li>政府の目指す、DX 実現への寄与と推進可能な人財の育成</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>医療キャッシュレスサービス: チョキペイの普及件数 10,000 施設</li> <li>地域医療介護情報連携ソリューションを通じたパートナー創出 5 件</li> <li>他業種や新たなパートナーシップ・協業の促進 10 社</li> <li>医療分野の先進的な学術研究への支援 2 件</li> </ol>

今回策定したマテリアリティと長期目標に基づく進捗管理や開示報告については、EMシステムズのサステナビリティサイトに掲載いたします。

なお、マテリアリティや長期目標については、社会環境の変化やEMシステムズに寄せられた外部からの助言に基づき、必要に応じてサステナビリティ委員会で適宜見直しを行ってまいります。

EMシステムズサステナビリティサイト  
<https://emsystems.co.jp/sustainability/>

EMシステムズ経営理念・会社方針  
<https://emsystems.co.jp/about/philosophy.html>

EMシステムズのコーポレートブランドロゴについて  
「#TX | Thanks Transformation (医療・介護を「#ありがとう」に変えていく)」  
<https://emsystems.co.jp/about/tx.html>

### 3. お問い合わせ先

- ・ EMシステムズ 管理本部 総務部  
Eメール： [ir\\_press@emsystems.co.jp](mailto:ir_press@emsystems.co.jp)  
ホームページ： <https://emsystems.co.jp>

以 上